

空調機専用 超音波加湿器

FT-P series

FT-P22～P602

FT-P22UV～P602UV

取扱説明書

このたびは、ユーキャン超音波加湿器をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、取付、保守、点検を行って下さい。

要保存

施工業者の皆様へ。
工事完了後、ユーザーの方へお渡し下さい。

ユーキャン株式会社

安全上のご注意

ご使用前に、必ずお読み下さい。また、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

ここに示した注意事項は、加湿器を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しております。安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています



注意

人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れのある内容を示しています

※トランスボックスに表示している記号の意味について



感電注意を表しています。



警告

- 設置の前に「取扱説明書」をよくお読みになった上で、内容に従って正しく設置して下さい。
- 本製品の設置は弊社サービスマン、又は専門業者に依頼してください。ご自分で工事され不備がありますと、水漏れや感電、火災の原因となります。
- 本製品の別売り品は必ず弊社指定の品を使用して下さい。又、取付に関しても弊社サービスマンに依頼して下さい。ご自分で工事され不備がありますと水漏れや感電、火災の原因となります。
- 本製品の保守・点検、修理には専門技術が必要です。必ず弊社にご相談ください。
- UVランプ搭載機種では、裸眼でUVランプを見ないで下さい。失明の原因となります。
- 濡れた手で電装部をさわらないで下さい。感電の原因になります。
- ACケーブルを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないで下さい。傷ついた部分から漏電して火災や感電の原因になります。
- ACケーブルを束ねたり、結んだりして使用しないで下さい。火災や感電の原因になります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、主電源を抜いて下さい。その後直ちに販売店または最寄りの営業所（巻末に記載）までご連絡下さい。
- 本器の不必要な分解、改造をしないで下さい。火災や感電の原因になります。

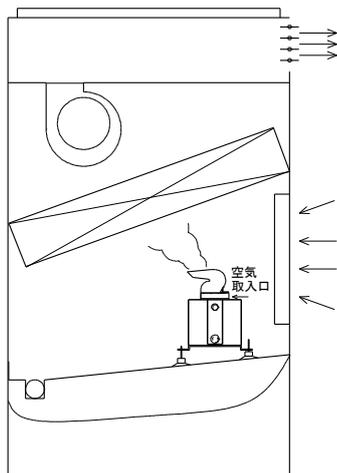
注意

- UVランプ搭載機種では、UVランプの光を皮膚に長時間当てないで下さい。
 - 運転中は、移動したり振動をあたえないで下さい。感電、漏電の原因になります。
 - 不安定な場所や振動のある場所に設置しないで下さい。加湿器が倒れたりしてけがの原因になることがあります。
 - ほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには設置しないで下さい。火災の原因になることがあります。
 - 緊急時に電源を落とせるように、ブレーカーの周りには物を置かないで下さい。発煙等の異常時にブレーカーが落とせず、火災や感電の原因になることがあります。
 - 指定以外の電源電圧で使用しないで下さい。火災や感電の原因になることがあります。
 - アース線は必ず接続して下さい。
 - 回路チェックにメガテスターは使用しないでください。高電圧で電子部品故障の原因となる場合があります。
 - 寒冷地、氷点下で使用する場合は、凍結防止の処置を給水配管全てに行ってください。凍結によりホースが破裂することがあります。
 - 振動子の寿命は約5,000時間です。使用環境、条件により寿命が短くなる場合があります。
 - 水槽内の水を清潔に保つため、3日に一度は水槽内部、及び吹出ダクトホース内部の清掃を行ってください。雑菌が繁殖することがあります。
 - 清掃の時は、電源を切って下さい。感電の恐れがあります。
 - 加湿器を長時間使用しない時は水槽の水を捨てて下さい。排水をしないで引き続き使用しますと、雑菌等により異臭を発することがあり、身体に悪影響を及ぼすことがあります。
- ※手入れが出来ない場合は、電源を切ると自動的に排水する排水電磁弁(オプション)をお勧めします。
- 加湿器には水以外の物を使用しないで下さい。故障を起こし、火災や感電の原因になることがあります。

1. 加湿器の据付

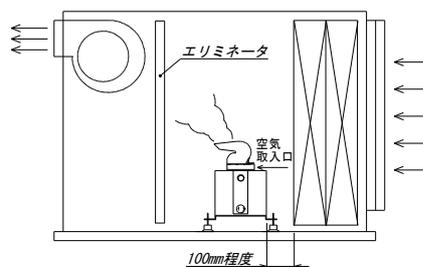
- ① 付属のゴム吸着足を加湿器に取り付けてください。
- ② パッケージ又は空調機のドレンパンの上に、加湿器本体が水平になるように据え付けてください。
- ③ 風向きの矢印方向に気流が流れるようにセットしてください。下図の様なパッケージエアコンの場合は風向次第で加湿量が大きく変動するので、ご相談ください。
- ④ 加湿器の空気取入口における風速が1.0～3.0m/sになるように設置してください。
(1.0～2.0m/sで最も効率よく加湿できます。)

パッケージエアコン組込例

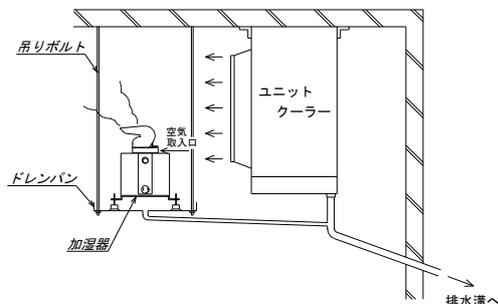


※なるべく吸気グリル側に寄せてください

エアーハンドリングユニット組込例



ユニットクーラーの風を利用した加湿方法



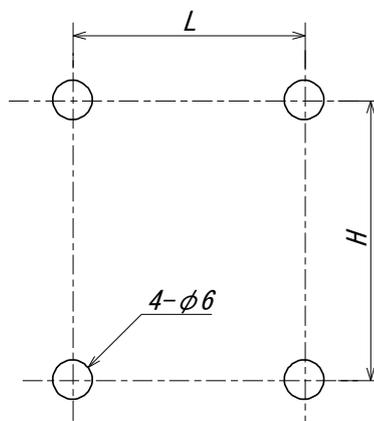
2. 電源トランスボックスの取付

- ① 電源トランスボックスは、パッケージの側板など、加湿器に近い位置に設置してください。
- ② 取り付ける前にあらかじめドリルで穴をあけ、付属のボルト・ナットで取り付けてください。
- ③ 後々の保守、サービスのため、周辺との空間を充分にとって下さい。

●電源トランス取付穴の寸法

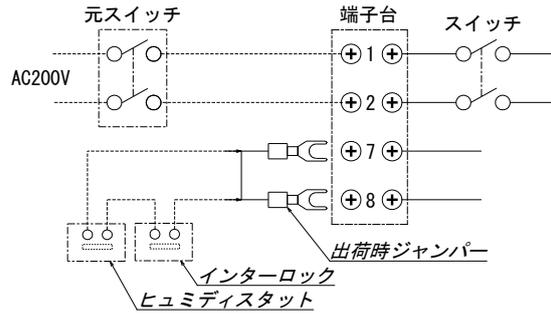
機種	L寸法 (mm)	H寸法 (mm)
FT-P22～P42	60	199
FT-P62～P162	120	243
FT-P242～P602	160	323
FT-P22UV～P42UV	100	223
FT-P62UV～P82UV	120	243
FT-P102UV～P602UV	160	323

(※標準仕様寸法。特殊仕様時は変更有り)



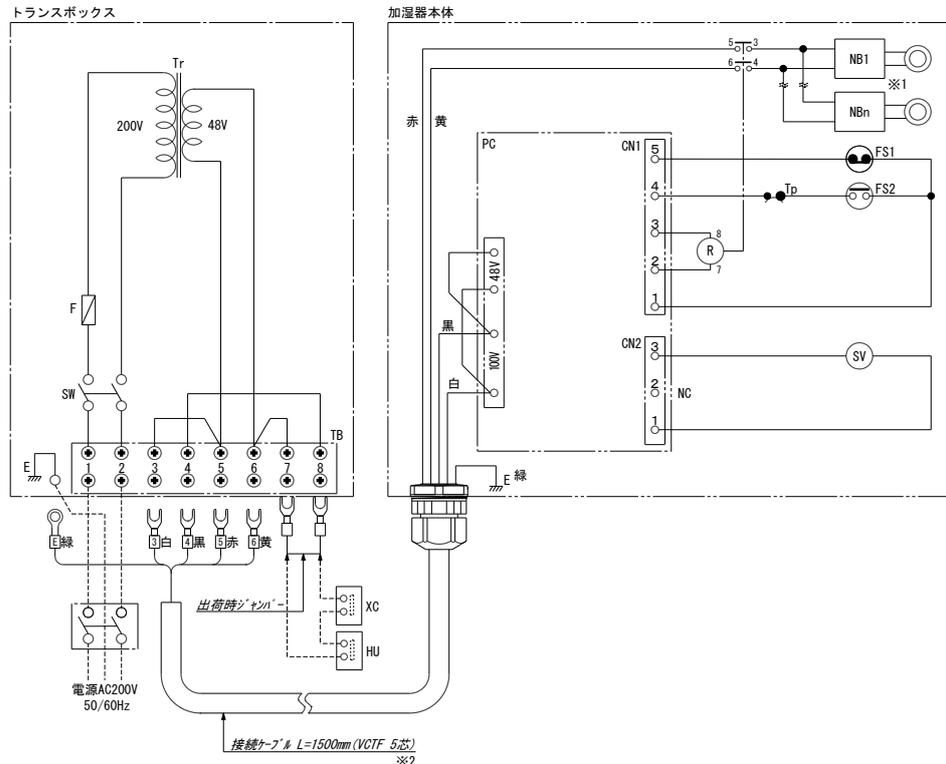
3. 電気配線工事

- ① 加湿器本体に付属しているケーブル線 (P22~P142 : 5芯、UVタイプは6芯~8芯) (P162~P302 : 3芯+2芯、UVタイプは6芯+3芯×2) (P482~P602 : 3芯+2芯+2芯、UVタイプは6芯+2芯+2芯) を番号通りに、対応する電源トランスの端子台に接続してください。
- ② 空調機のファンからのインターロック(無電圧A接点)を、電源トランスの端子台⑦⑧(出荷時ジャンパー)へ、ジャンパー線を外し接続してください。ファンの運転中のみ加湿器がONになるようにします。空調機に組み込んで使用する場合は、必ず空調機ファンとのインターロックを取ってください。
- ③ ヒュミディスタット、インターロックは、接点容量がAC200V・1A以上のものを使用してください。ヒュミディスタットのセンサー部は、室内の一番コントロールを行いたい位置で、直接霧のかからない場所に取り付けてください。
- ④ アース用端子は、ネジ止めにしてあります。必ず設置してください。



●電気結線図 (比例制御の場合は別紙「配線接続及び運転方法」をご覧ください)

FT-P22/P42/P62/P82



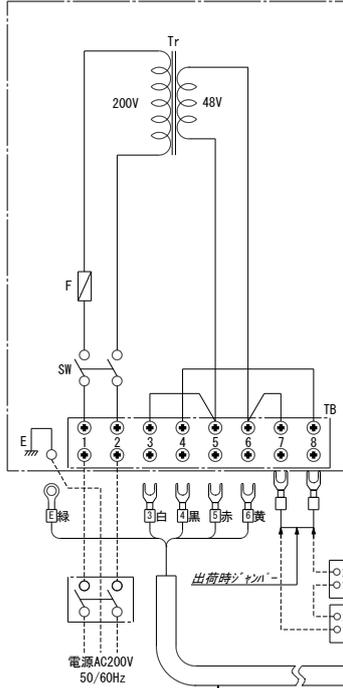
記号	名 称	備 考
XC	インターロックスイッチ	(客先手配)
HU	湿度調節器	(客先手配)
NB	超音波加湿ユニット	UP-015A
FS1	給水用加圧スイッチ	FS-0684A
FS2	加湿用加圧スイッチ	FS-0683A
R	加湿用リレー	HH62S AC48V
SV	給水電磁弁	VCW21-8G AC48V
TB	端子台	8P
Tp	サーモプロテクタ	55℃ OFF
Tr	トランス	200V/48V
F	ヒューズ (22/42/62/82)	1A/1A/2A/2A
SW	電源スイッチ	CW-SB21NMKZMEF (緑)
PC	制御基板	UP-003E

※1, 2 : 型式別加湿ユニット数、接続ケーブルサイズ

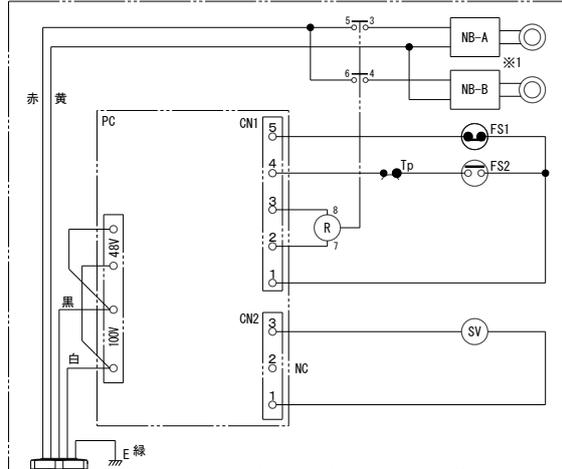
型 式	ユニット数	ケーブルサイズ
FT-P22-24	2	0.5mm ²
FT-P42-24	4	0.5mm ²
FT-P62-24	6	0.75mm ²
FT-P82-24	8	0.75mm ²

FT-P102/P122/P142

トランスボックス



加湿器本体



記号	名称	備考
XC	インターロックスイッチ	(客先手配)
HU	湿度調節器	(客先手配)
NB	超音波加湿ユニット	UP-015A
FS1	給水用加トスイッチ	FS-0684A
FS2	加湿用加トスイッチ	FS-0683A
R	加湿用リレー	HH62S AC48V
SV	給水電磁弁	VCM21-8G AC48V
TB	端子台	8P
Tp	サーモプロテクタ	55°C OFF
Tr	トランス	200V/48V
F	ヒューズ(102/122/142)	3A/3A/5A
SW	電源スイッチ	CW-SB21NMKZMEF(緑)
PC	制御基板	UP-003E

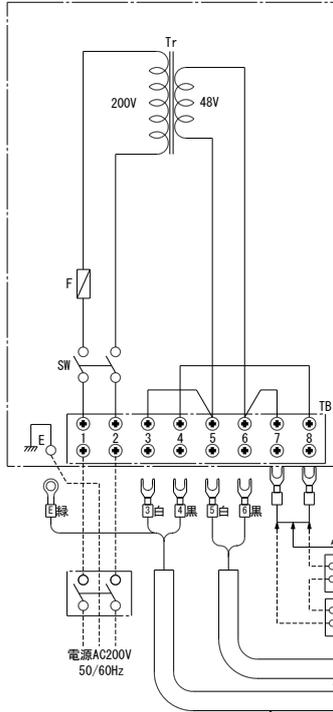
※1: 型式別加湿ユニット数及び配置

型式	ユニット数	NB-A	NB-B
FT-P102-24	10	NB-1~5	NB-6~10
FT-P122-24	12	NB-1~6	NB-7~12
FT-P142-24	14	NB-1~7	NB-8~14

接続ケーブル L=1500mm(VCTF 5芯 1.25mm²)

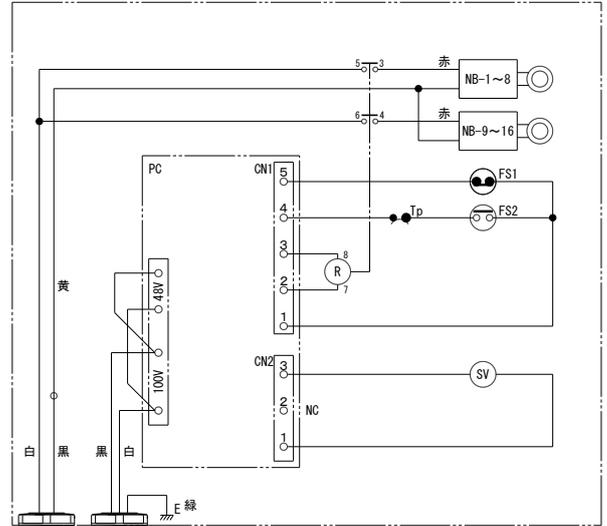
FT-P162

トランスボックス



記号	名称	備考
XC	インターロックスイッチ	(客先手配)
HU	湿度調節器	(客先手配)
NB	超音波加湿ユニット	UP-015A
FS1	給水用加トスイッチ	FS-0684A
FS2	加湿用加トスイッチ	FS-0683A
R	加湿用リレー	HH62S AC48V
SV	給水電磁弁	VCM21-8G AC48V
TB	端子台	8P
Tp	サーモプロテクタ	55°C OFF
Tr	トランス	200V/48V
F	ヒューズ	5A
SW	電源スイッチ	CW-SB21NMKZMEF(緑)
PC	制御基板	UP-003E

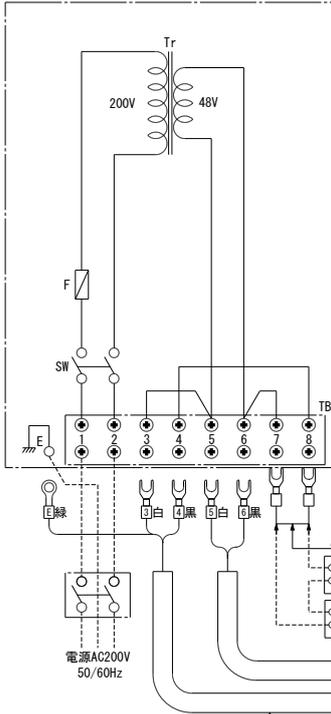
加湿器本体



接続ケーブル L=1500mm(VCT2芯 2.0mm²)
接続ケーブル L=1500mm(VCTF3芯 0.75mm²)

FT-P242/P302

トランスボックス



記号	名称	備考
XC	インターロックスイッチ	(客先手配)
HU	湿度調節器	(客先手配)
NB	超音波加湿ユニット	UP-015A
FS1	給水用リレー	FS-0684A
FS2	加湿用リレー	FS-0683A
R	加湿用リレー	G7L-2A-BUB AC48V
SV	給水電磁弁	VCW21-8G AC48V
TB	端子台	8P
Tp	サーモプロテクタ	55°C OFF
Tr	トランス	200V/48V
F	ヒューズ	8A
SW	電源スイッチ	A8A-223-1(緑)
PC	制御基板	UP-003E

※1: 型式別加湿ユニット数及び配置

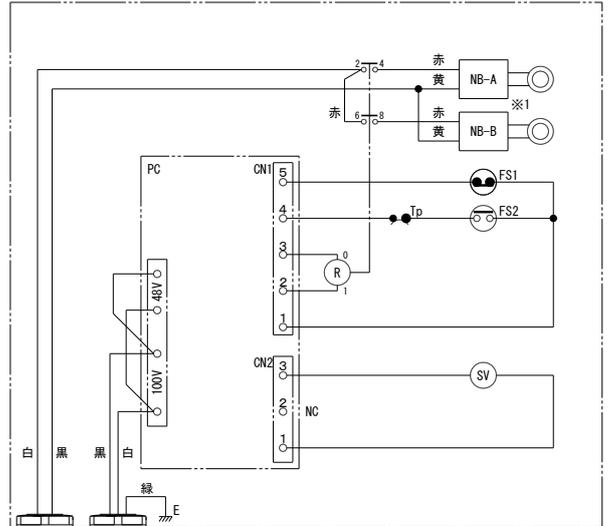
型式	ユニット数	NB-A	NB-B
FT-P242-24	24	NB-1~12	NB-13~24
FT-P302-24	30	NB-1~15	NB-16~30

※2: 接続ケーブルサイズ

型式	ケーブルサイズ
FT-P242-24	VCT 2.0mm ²
FT-P302-24	VCT 3.5mm ²

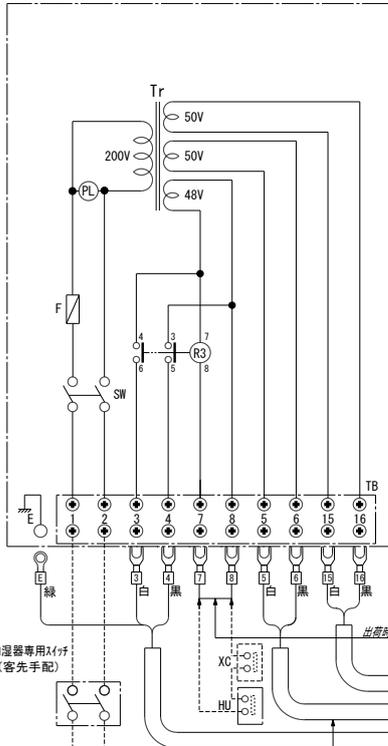
接続ケーブル L=1500mm (2芯 ※2)
接続ケーブル L=1500mm (VCTF3芯 0.75mm²)

加湿器本体



FT-P482

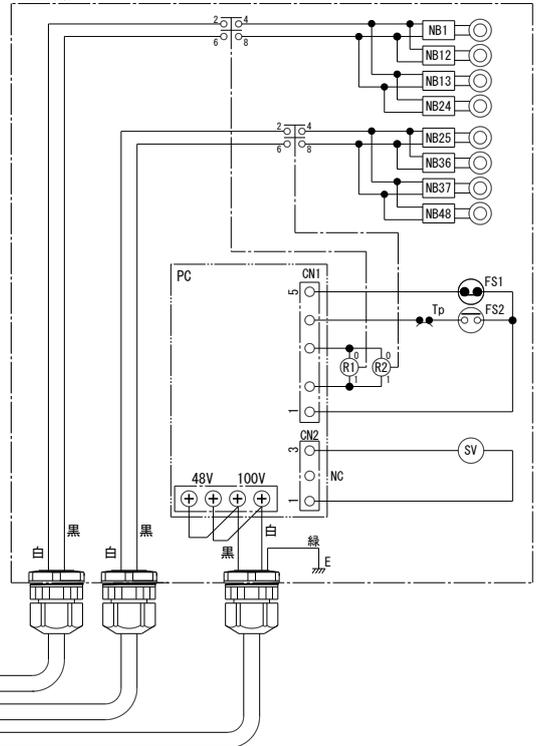
トランスボックス



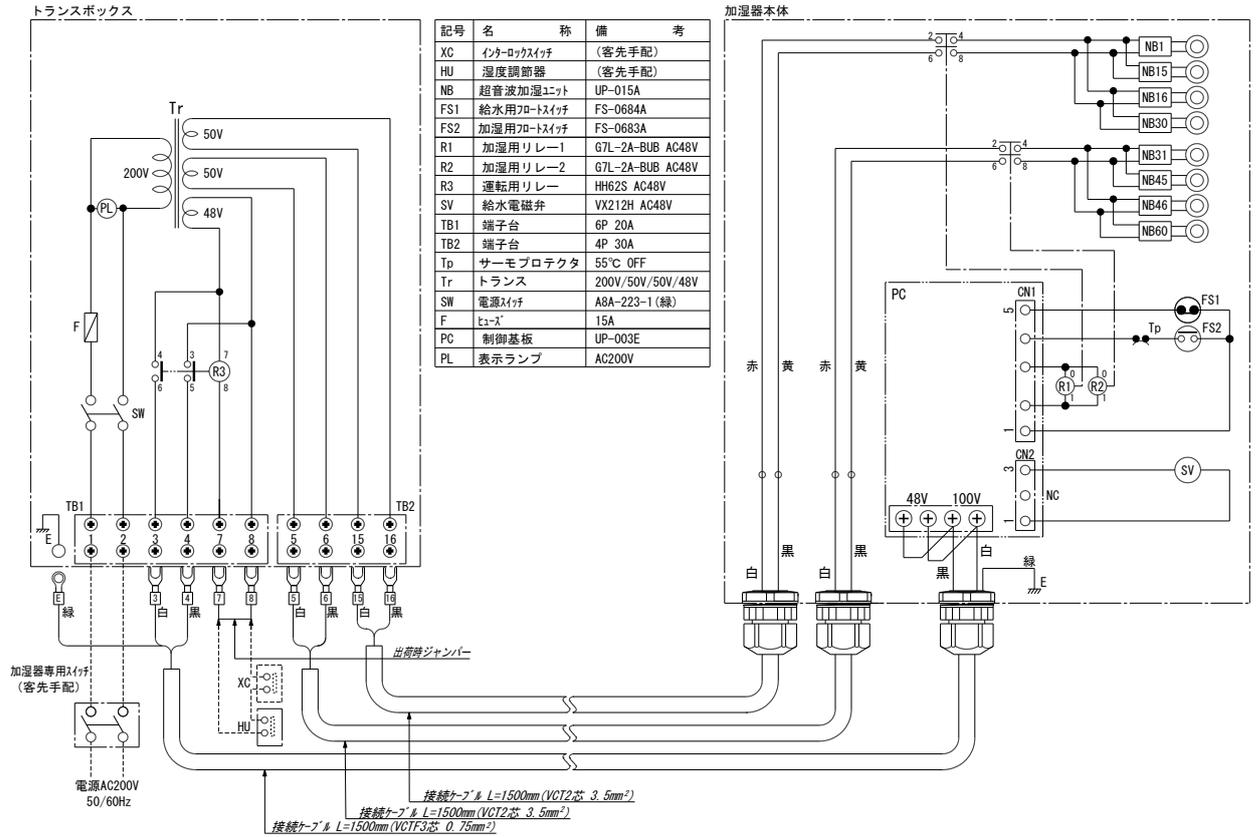
記号	名称	備考
XC	インターロックスイッチ	(客先手配)
HU	湿度調節器	(客先手配)
NB	超音波加湿ユニット	UP-015A
FS1	給水用リレー	FS-0684A
FS2	加湿用リレー	FS-0683A
R1	加湿用リレー1	G7L-2A-BUB AC48V
R2	加湿用リレー2	G7L-2A-BUB AC48V
R3	運転用リレー	HH62S AC48V
SV	給水電磁弁	VX212H AC48V
TB	端子台	10P 20A
Tp	サーモプロテクタ	55°C OFF
Tr	トランス	200V/50V/50V/48V
SW	電源スイッチ	A8A-223-1(緑)
F	ヒューズ	15A
PC	制御基板	UP-003E
PL	表示ランプ	AC200V

接続ケーブル L=1500mm (VCT2芯 2.0mm²)
接続ケーブル L=1500mm (VCT2芯 2.0mm²)
接続ケーブル L=1500mm (VCTF3芯 0.75mm²)

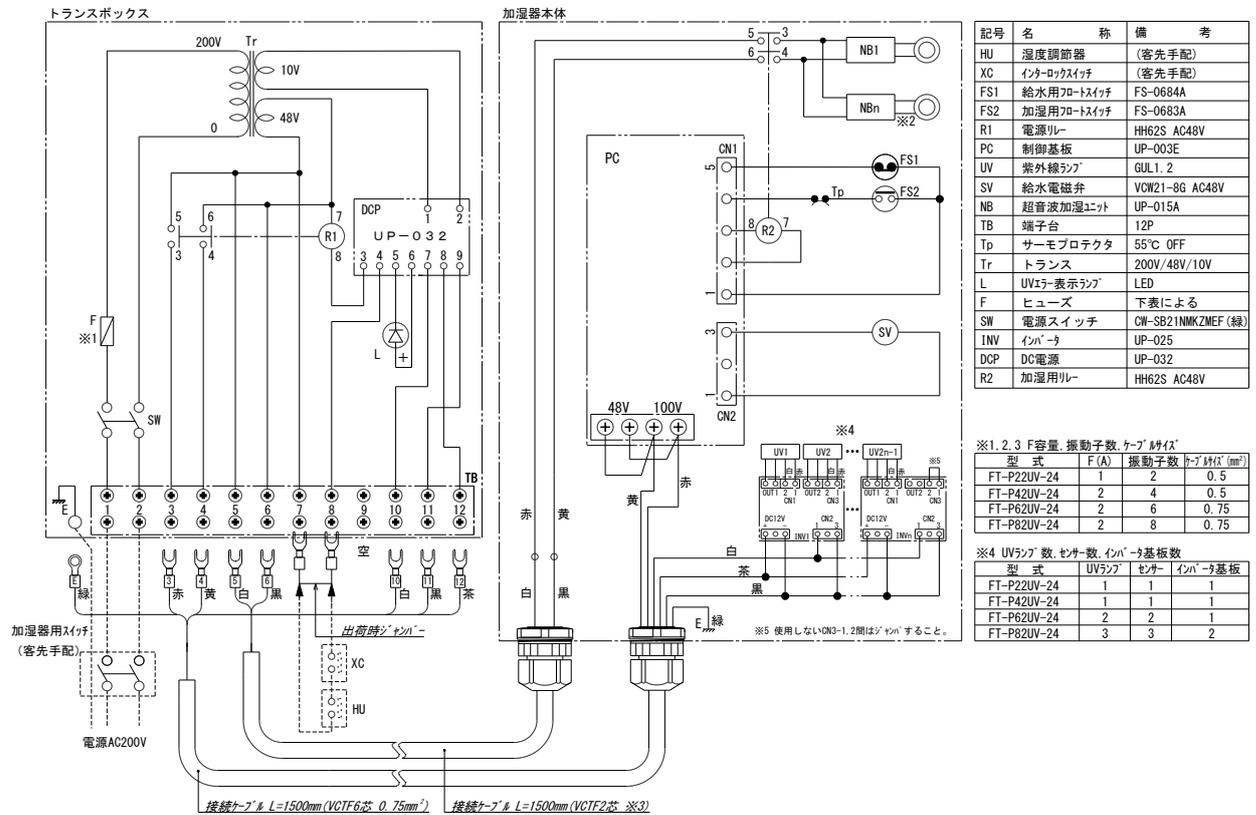
加湿器本体



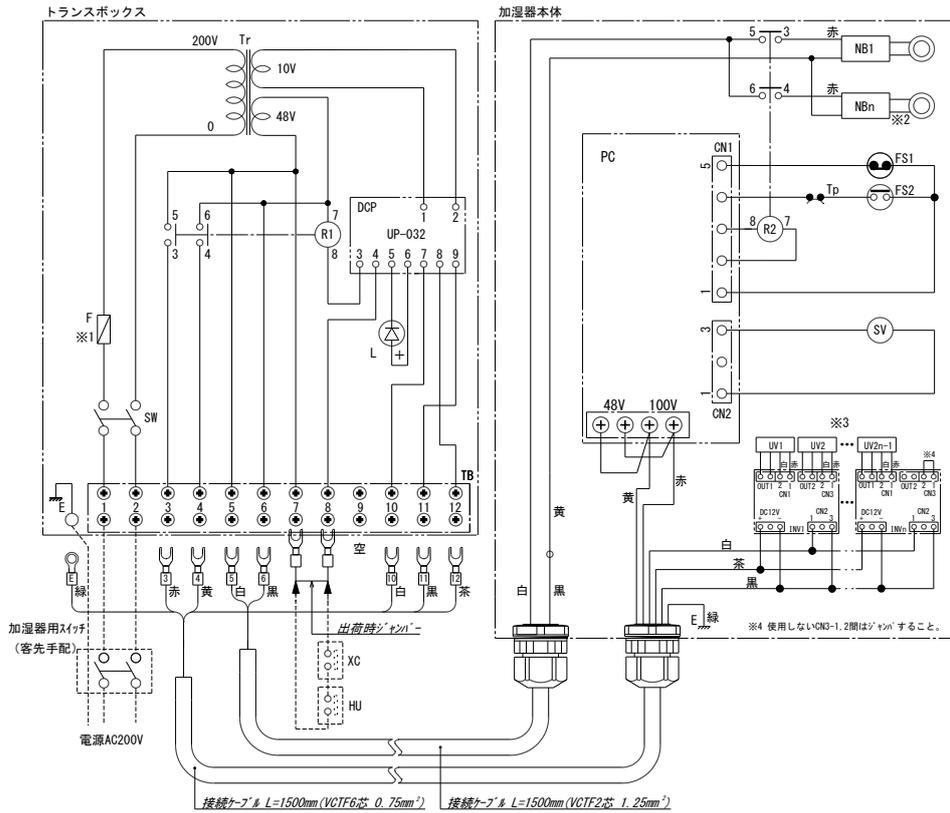
FT-P602



FT-P22UV/P42UV/P62UV/P82UV...



FT-P102UV/P122UV/P142UV



記号	名称	備考
HU	湿度調節器	(客先手配)
XC	インパクタスイッチ	(客先手配)
FS1	給水用フロートスイッチ	FS-0684A
FS2	加湿用フロートスイッチ	FS-0683A
R1	電源リレー	HH62S AC48V
PC	制御基板	UP-003E
UV	紫外線ランプ	GUL1.2
SV	給水電磁弁	VCW21-8G AC48V
NB	超音波加湿ユニット	UP-015A
TB	端子台	12P
TP	サーモプロテクタ	55°C OFF
Tr	トランス	200V/48V/10V
L	UV15-表示ランプ	LED
F	ヒューズ	下表による
SW	電源スイッチ	CW-SB21NMKZMEF (緑)
INV	インバータ	UP-025
DCP	DC電源	UP-032
R2	加湿用リレー	HH62S AC48V

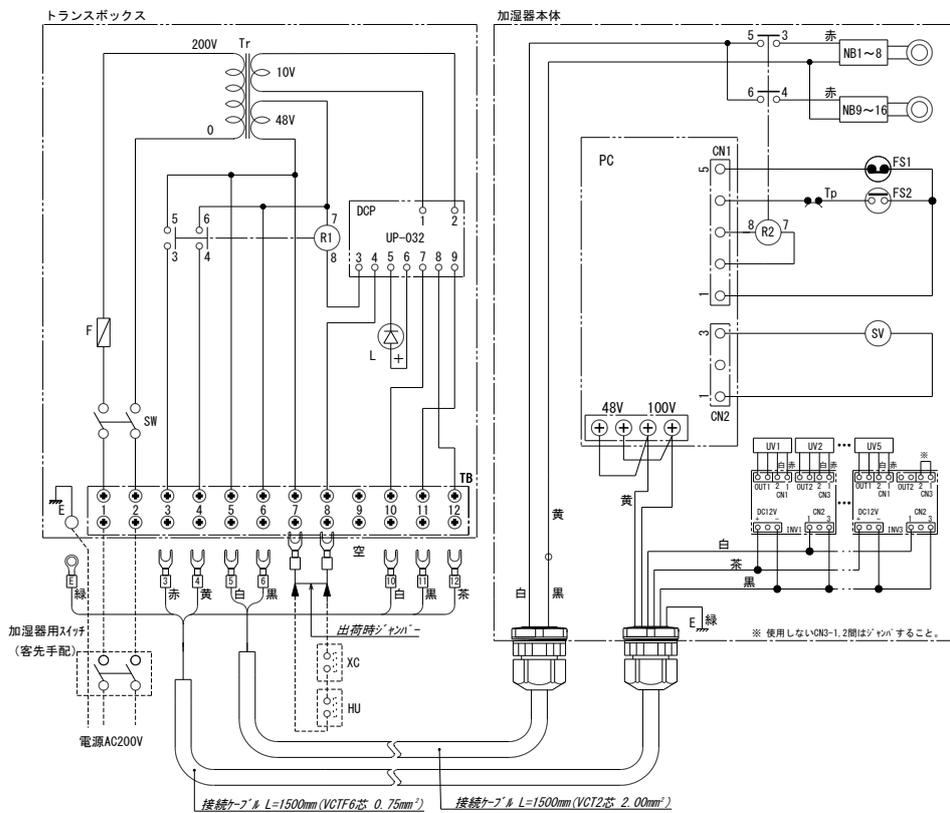
※1.2 F容量、振動子数

型式	F (A)	振動子数
FT-P102UV-24	3	10
FT-P122UV-24	3	12
FT-P142UV-24	5	14

※3 UVランプ数、セパ数、インバータ基板数

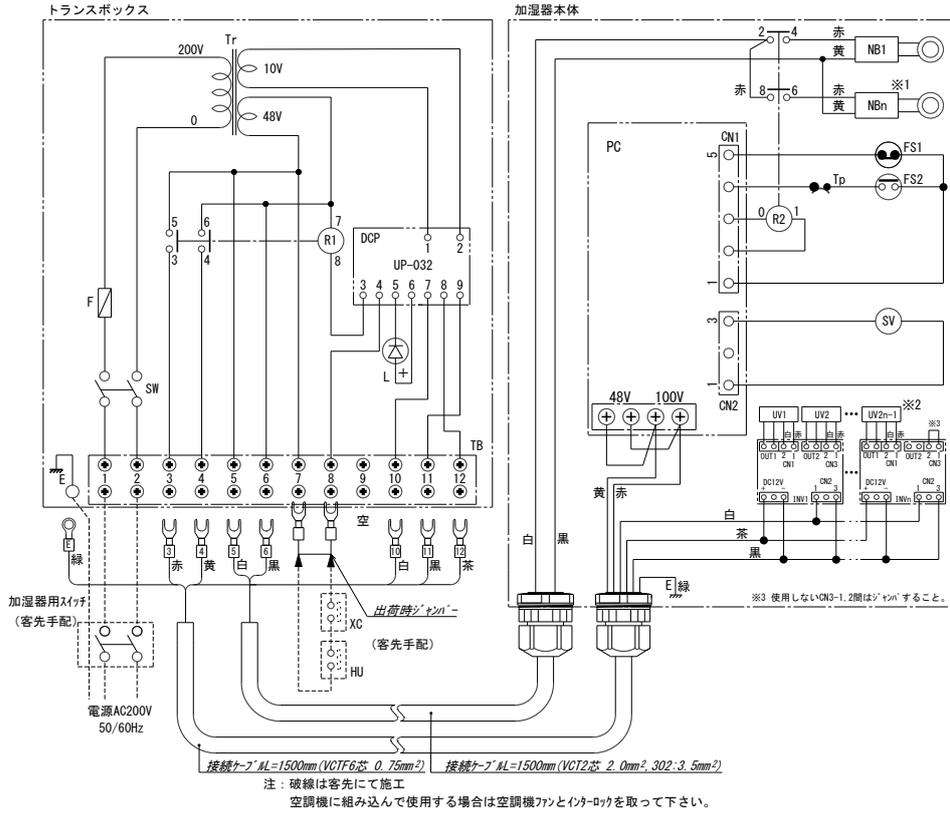
型式	UVランプ	セパ	インバータ基板
FT-P102UV-24	3	3	2
FT-P122UV-24	4	4	2
FT-P142UV-24	5	5	3

FT-P162UV



記号	名称	備考
HU	湿度調節器	(客先手配)
XC	インパクタスイッチ	(客先手配)
FS1	給水用フロートスイッチ	FS-0684A
FS2	加湿用フロートスイッチ	FS-0683A
R1	電源リレー	HH62S AC48V
PC	制御基板	UP-003E
UV	紫外線ランプ	GUL1.2
SV	給水電磁弁	VCW21-8G AC48V
NB	超音波加湿ユニット	UP-015A
TB	端子台	12P
TP	サーモプロテクタ	55°C OFF
Tr	トランス	200V/48V/10V
L	UV15-表示ランプ	LED
F	ヒューズ	5A
SW	電源スイッチ	CW-SB21NMKZMEF (緑)
INV	インバータ	UP-025
DCP	DC電源	UP-032
R2	加湿用リレー	HH62S AC48V

FT-P242UV/P302UV

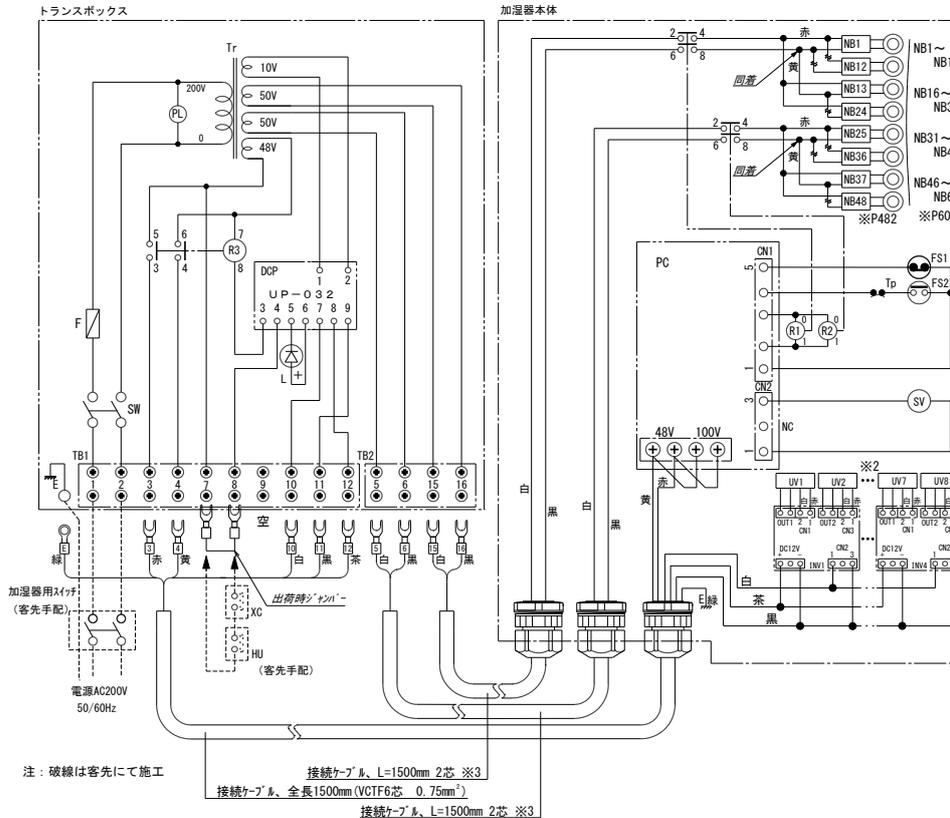


記号	名称	備考
HU	湿度調節器	(客先手配)
XC	インパル	(客先手配)
FS1	給水用フロースイッチ	FS-0684A
FS2	加湿用フロースイッチ	FS-0683A
R1	電源リレー	HH62S AC48V
PC	制御基板	UP-003E
UV	紫外線ランプ	GUL1.2
SV	給水電磁弁	VGW21-8G AC48V
NB	超音波加湿ユニット	UP-015A
TB	端子台	12P
TP	サーモプロテクタ	55°C OFF
Tr	トランス	200V/48V/10V
L	UVエラ表示ランプ	LED
F	ヒューズ	8A
SW	電源スイッチ	A8A-223-1 (緑)
INV	インバータ	UP-025
DCP	DC電源	UP-032
R2	加湿用リレー	G7L-2A-BUB AC48V

※1.2 振動子数/UVランプ・センサー数/インパル基板数

型式	振動子数	UVランプ・センサー	インパル基板数
FT-P242UV-24	24	5	3
FT-P302UV-24	30	6	3

FT-P482UV/P602UV



記号	名称	備考
HU	湿度調節器	(客先手配)
XC	インパル	(客先手配)
FS1	給水用フロースイッチ	FS-0684A
FS2	加湿用フロースイッチ	FS-0683A
R3	電源リレー	HH62S AC48V
PC	制御基板	UP-003E
UV	紫外線ランプ	GUL1.2
SV	給水電磁弁	YX212H AC48V
NB	超音波加湿ユニット	UP-015A
TB1	端子台	10P
TB2	端子台	4P
TP	サーモプロテクタ	55°C OFF
Tr	トランス	200V/50V/50V/48V/10V
L	UVエラ表示ランプ	LED
SW	電源スイッチ	A8A-223-1 (緑)
F	ヒューズ	15A
INV	インバータ	UP-025
DCP	DC電源	UP-032
PL	表示ランプ	AC200V
R1	加湿用リレー-1	G7L-2A-BUB AC48V
R2	加湿用リレー-2	G7L-2A-BUB AC48V

※1.2 振動子数/UVランプ・センサー数/インパル基板数

型式	振動子数	UVランプ・センサー	インパル基板数
FT-P482UV-24	48	8	4
FT-P602UV-24	60	8	4

※3 ケーブルサイズ

型式	ケーブルサイズ
FT-P482UV-24	VCT 2.0mm ²
FT-P602UV-24	VCT 3.5mm ²

5. 給水配管工事

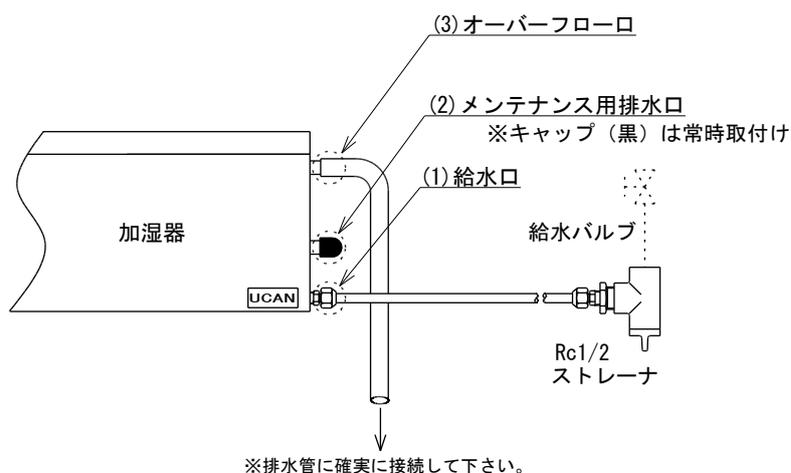
給水は、市水または上水を供給してください。給水圧は、0.03MPa～0.5MPa (0.3～5.0kgf/cm²) の範囲内で供給してください。公共の水道に直接接続することは出来ません。自家用受水槽、もしくはシスターンを設けて下さい。冬期0℃以下になる場合では、加湿器水槽内の水の凍結、給・排水系統の凍結防止策を行ってください。

※補給水の水質について

超音波加湿器は、水を微細な霧状にして空気中へ噴霧しますので水に溶解している鉱物質はそのまま空気中へ放出され、蒸発とともにそれらは“白い粉”となって空気中に浮遊したり、室内の機器類や壁面などに付着します。コンピューターのディスプレイがチラついたり、クリーンルームに塵埃が浮遊するなどさまざまな不都合を生じることがあります。このような“白い粉”の発生を防止するには、RO純水装置などで処理した水を供給する必要があります。

(弊社製品では、UPRシリーズ、UPWシリーズがこれに該当します。ご検討の際は弊社各営業所までお問い合わせください。また、工場設備の超純水等をご使用になる場合、配管等に悪影響を及ぼす場合があります。弊社までお問い合わせください。)

- ① 本体への給水接続は、1/2インチ管を用います。本体の給水接続口より1m以内に配管して下さい。
- ② 管末には、ストップバルブを取り付けて下さい。
- ③ 付属の銅管及び1/2インチストレナで本体に接続します。なお、本体へ接続する前にしばらくバルブを開き、管の中のゴミを洗い流して下さい。この作業を怠りますと、加湿が正常に行われなかったり、電磁弁のゴミ噛みを生じ、オーバーフローする原因になります。
- ④ オプション排水電磁弁付き以外の排出口にはキャップ（黒）がついています。メンテナンス時以外は絶対に外さないで下さい。キャップが外れていると加湿運転しません。
- ⑤ オーバーフローは正常な運転状態では起こりませんが、本器内の給水電磁弁にゴミが詰まった場合、本体の取り付けが水平でない場合など異常時にオーバーフローすることがあります。付属のビニールホースを排水管に確実に接続して下さい。



- ↑ 注意
- ・機種によって給水口、排水口、オーバーフロー口の位置が異なります。
 - ・排水口キャップ（黒）が外れていると加湿運転しませんのでメンテナンス時以外は外さないで下さい。

6. 運転方法

- ① 運転開始の前に電源電圧（AC200V）は正常か、給水圧は正しいかを確認してください。
- ② ヒュミディスタットのダイヤルを希望する相対湿度に合わせてください。
- ③ 電源スイッチをONにしてください。次の要領で自動運転を行います。
 - 1) 電磁弁が開き、給水が始まります。
 - 2) 所定水位に達すると、加湿が始まります。
 - 3) 水位が40mm程度に達すると、電磁弁が閉じ、給水はストップします。
 - 4) 加湿により、水位が減少すると自動的に電磁弁が開き給水を行います。運転中はこの動作が繰り返されます。
 - 5) 万一断水した場合は、空運転防止用フロート・スイッチが作動し、運転はストップします。しかし、給水電磁弁は電源を切らない限り、開いた状態になっています。
 - 6) 加湿シーズン中は、給水バルブは開にし、電源トランスのスイッチはONにしておいて下さい。

お願い

- シーズン終了後や3日以上運転をしないときは、給水バルブを閉じ電源トランスのスイッチをOFFにし、排水キャップをはずして排水してください。水がたまっている状態では、水槽内に雑菌が繁殖したり、ヌルによる誤動作を引き起こしたりする原因になります。
- シーズンオフなどの加湿器を停止している期間は通水がないため給水配管に汚れがたまったり、腐食したりすることがあります。シーズンインには必ずフラッシングを行ってください。
- シーズン開始前には、水槽部の手入れを必ず実行してください。

7. 保守・点検作業

◎吹出部の取り出し方法

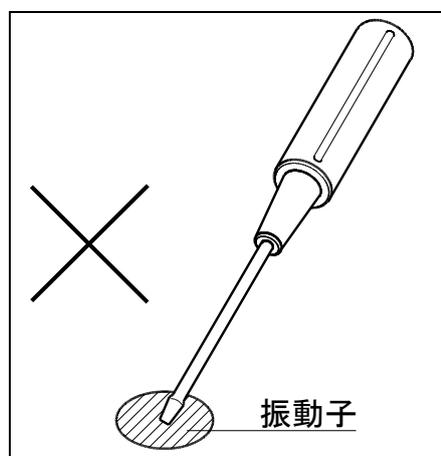
- ① 電源をOFFにしてください。
- ② プラスドライバーで、吹出部を留めている2本のネジを外してください。
- ③ 吹出部を取り外します。ここまでで、水槽内部の清掃・手入れが行えます。

◎電装部の取り出し方法

- ① 水槽部と水槽カバーを留めてあるネジを外します。
- ② ゆっくりと水槽部を上引き出してください。急激に引き出すと、基板やリード線を破損することがあります。ご注意ください。
- ③ 前記作業を行った後、さらに給水弁を閉じます。
- ④ 必要があればスパナで給水銅管を外してください。

◎水槽及び振動子の手入れ

- ① 電源スイッチを切って下さい。
- ② 吹出部を取り外します。
- ③ 排水を行い、水槽の汚れを雑巾などで拭き取ります。
- ④ 振動子（丸い金属板）の表面は柔らかい布などで汚れを拭き取ります。決してドライバーなど固いもので削ったり、叩いたりしないで下さい。
- ⑤ 汚れを取り除いた後、電源スイッチを入れて給水し、もう一度排水して水槽内部をクリーンにしてください。



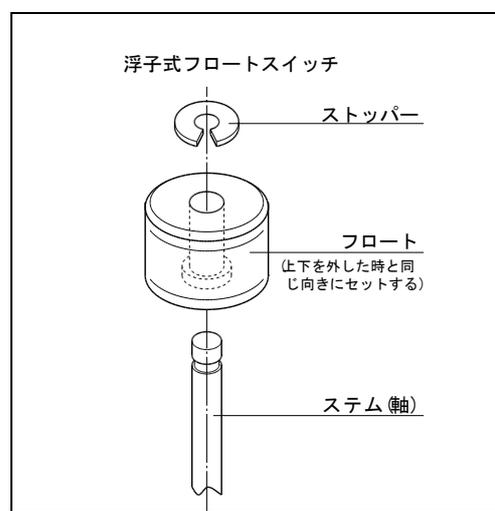
⚠ 注意

水槽内は水質や空気中のホコリにより汚れやすいので、保健衛生上定期的に（3日に1度）清掃を行って下さい。

■フロートスイッチの手入れ

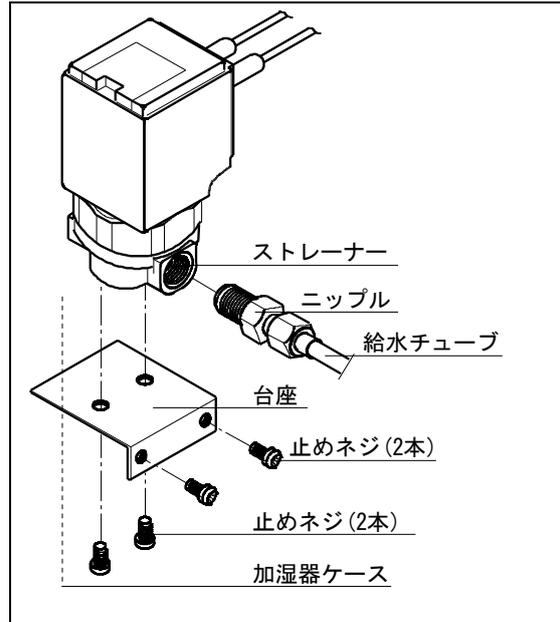
本製品は浮子式フロートスイッチを使用しています。

- ① 通常はフロートを指で上下に動かし、スムーズに動けばOKですが、念のため、軸部、フロート部の汚れは丁寧に拭いて下さい。
- ② ストッパーを外し、軸フロートを拭いて掃除して下さい。
- ③ フロートは、上下の向きが決まっています。見落としの無いように外す前に良く確認してから行って下さい。（フロート下部に磁石が来ます）



◎電磁弁の手入れ

- ①給水バルブを閉め、電源を切ってから作業にかかって下さい。
- ②スパナで給水チューブ、及びニップルを外します。
- ③電磁弁を止めてある2本のネジを外し、電磁弁を取り出します。
- ④ストレーナーにゴミが詰まっていれば、それを取り除いて下さい。
- ⑤電磁弁の故障の場合は交換して下さい。
- ⑥元通りに組み立てて下さい。このときプランジャーなどにゴミが付着しないように注意して下さい。

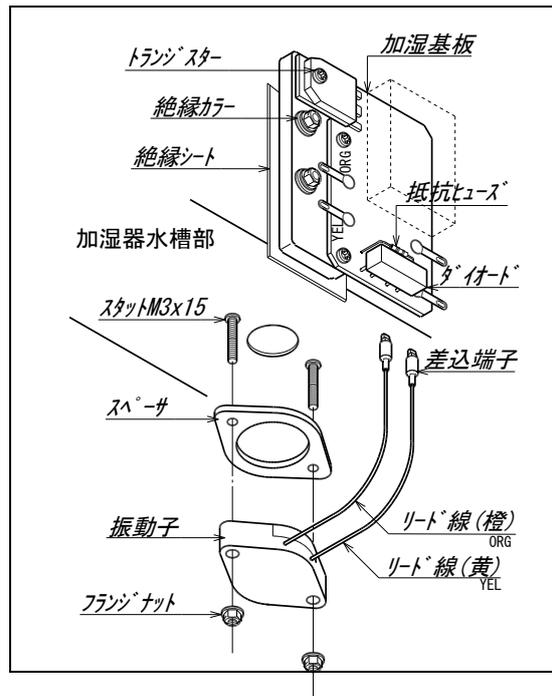


◎振動子の点検、交換の仕方

水槽底部の振動子（丸い金属）は、長期間使用するうちに経年劣化し、霧化量が減少していきます。新しい振動子に交換することで、加湿量が蘇ります。

- ①振動子を止めている2ヶのフランジナットを外して下さい。（3mmナット用のボックスドライバ使用）
- ②基板に差し込んである黄色と橙色のリード線を抜き、振動子を取り外します。
- ③新しい振動子に交換し、フランジナットを締めます。このとき、片締にならないよう左右バランス良く締めて下さい。

リード線の差込端子をYEL（黄色）、ORG（橙色）の表示通り差し込みます。



■UVランプの手入れ（UVランプ搭載機種のみ）

ランプ外管（石英ガラス管）の汚れを柔らかい布などで拭き取ります。決してドライバーなど固いもので削ったり、叩いたりしないで下さい。ガラス管が破損することがあります。

■UVランプの交換方法

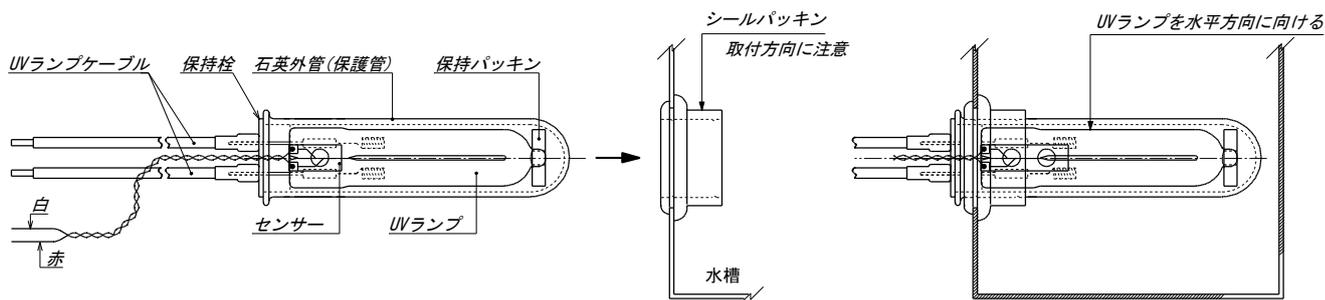
経年劣化によりランプが光量不足になると、センサーが働き加湿器本体を停止させます。それと同時に、トランスボックスの「UV不良表示ランプ」が点灯しますので、その際は最寄りの営業所にご連絡下さい（各営業所の連絡先は裏表紙に記載してあります）。

※UVランプの寿命は約10,000時間です。

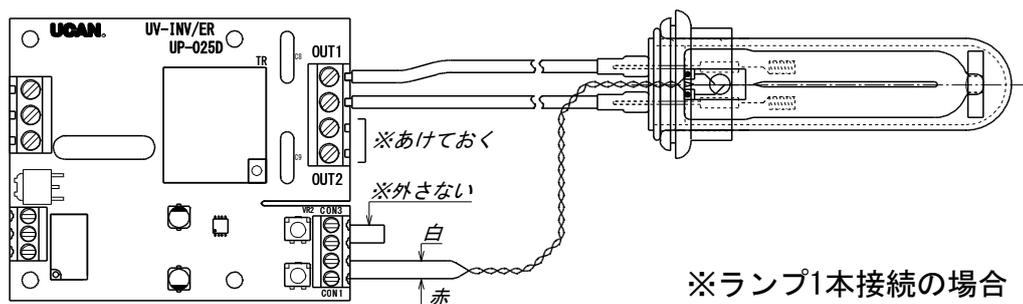
※弊社から交換部品としてUVランプを出荷する際は、①石英外管(保護管)②保持パッキン③センサー④保持栓⑤ケーブルを組み合わせたセットで供給いたします。バラ売りはできませんのであしからずご了承ください。

【UVランプ交換手順】

- ① 「UV-INV基板」から、既設UVランプの電源ケーブルおよびセンサーのケーブルを抜きます。
 - ② 「UVランプ」を石英外管ごと水槽部から抜きとります。
 - ③ 新しい「UVランプ」を水槽部シールパッキンに挿入します。このときシールパッキンがよじれたり外れたりしないようご注意ください。
- ※シールパッキンにキズや劣化がある場合は、新品に交換して下さい。漏水の原因になります。
- ④ UVランプが水平になるように調整して下さい。



- ④ UVランプケーブルを“UV-INV基板”のOUT1またはOUT2に接続します。
接続方法：端子台の上部にあるネジをゆるめ、ケーブルを差し込み、ネジを締め付けます。
- ※UVランプケーブルには極性はありません。
- ⑥ 同様に、センサーからのケーブルを“UV-INV基板”のCON1またはCON3に接続します。
- ※センサーには極性がありますので、下図を参照の上、赤・白線の接続位置を間違えないように接続して下さい。また、わたり線がある場合はそのままにしておいて下さい。

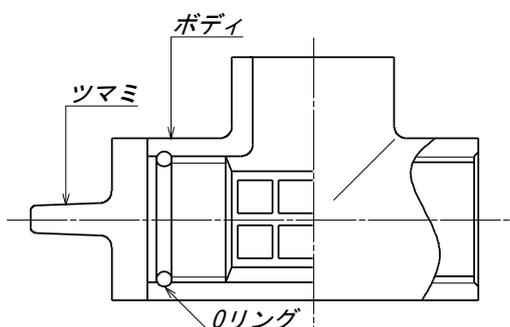


◎ストレーナの手入れ

- ①反時計方向に回し、ストレーナを取り出します。
- ②ストレーナ底部にゴミがたまっていれば、それを取り除いて下さい。
- ③元通りに組み立てます。

注意

- 試運転前・メンテナンス時・清掃時などにおいては、キャップをしっかりと締め切り、ツマミとボディの間が密着していることを確認してください。
- キャップを絞め込むときには、ストレーナ内を水抜きした状態で絞め込みしてください。（水圧が原因でOリングが変形し、水漏れの原因となる場合があります。）



8. 電源トランスの点検方法

危険防止のため、電源元スイッチを切ってから作業を進めて下さい。

- ① トランスボックスのカバーを外します。
- ② ヒューズを点検して下さい。切れている場合は、スイッチ取付側板内側にテープで留めてある予備のヒューズと交換して下さい。
- ③ サージフィルタ（バリスタ）が焼損又は破損（亀裂等）していないか点検して下さい。
- ④ メガーテスターで絶縁抵抗を測定します。本体からの接続ケーブルを取り外し、本体との関係を遮断します。接地端子又はケースに測定リード線の片側を、他のリード線を端子台番号①②③④番に接続し、各々テスターの指示が100M Ω 以上であることを確認して下さい。
- ⑤ 電源元スイッチ及びトランスボックスのスイッチを入れ、電圧が正常かどうか、端子台のカバーを外し、各端子をテスターで計測して下さい。ヒューズが切れていた場合、加湿器本体にも原因があります（次項参照）。

9. トラブルシューティング

故障したとき、まず先に点検することは・・・

故障？	チェック	処置
加湿器が作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電気はきていますか？ ●トランスボックスのスイッチはONになっていますか？ ●トランスのヒューズは切れていませんか？ ●湿度調節器の設定値は正常ですか、ON範囲になっていますか？ ●UVランプが切れていませんか？ (トランスボックスの「UV不良表示ランプ」が点灯していませんか？) 	<ul style="list-style-type: none"> ●テスターでチェックする ●スイッチを入れる ●切れていれば、付属のスペアと交換する ●ダイヤルを高い湿度方向へ回す ●UVランプを交換してください
給水しない	<ul style="list-style-type: none"> ●給水元バルブは開いていますか？ ●ストレーナにゴミはつまっていますか？ ●給水フロートスイッチが汚れで固着していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●バルブを開く ●ストレーナの分解・清掃 ●フロートスイッチ（黒）を清掃
給水するが加湿しない	<ul style="list-style-type: none"> ●空運転防止用のフロートスイッチが汚れで固着していませんか？ ●水槽内の水温が高くなっていませんか？(50℃以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ●フロートスイッチ(青)を清掃 ●排水し、新たに給水する
給水がとまらない	<ul style="list-style-type: none"> ●給水フロートスイッチが汚れで固着していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●フロートスイッチ(黒)を清掃

以上を点検し、それでも直らない場合は、最寄りの弊社営業所または本社技術部へご相談ください。

■故障の原因

- ①霧化量が減少してきた状態で長時間運転を続けた場合、ユニット基板のトランジスタが故障することがあります。
- ②横倒しや逆さまな状態で通電すると、フロートスイッチが入り、空運転してしまい、ユニット基板のトランジスタが故障します。
- ③加湿量よりも給水量が少ない場合、ON-OFFを頻繁に繰り返し、故障することがあります。最低水圧0.03MPa(0.3kgf/cm²)
- ④落雷など、大きなサージが入ったとき。
- ⑤基板の回路チェックにメガテスターを使用したとき。
- ⑥砂、石、鉄粉などが水槽に入ったままの状態、長時間運転を続けた場合。
- ⑦電磁弁にゴミがかみ、オーバーフローしてしまう場合があります。

■対処の仕方

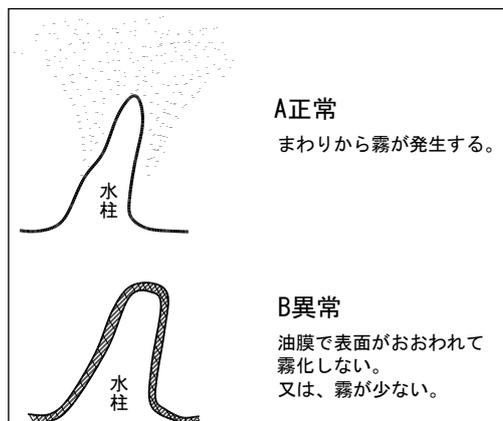
●霧化量が減少してきた場合（故障の原因①の場合）

<設置後まもなくの時>

- ①水槽内の水に油成分、配管用接着剤などが混入している場合は、霧化が正常に行われません。電源を切ってから一度排水し、中性洗剤、スポンジタワシで水槽内を清掃後、再度給水して下さい。泡が消えるまで排水を続けます。
- ②電源電圧が低下していないかチェックして下さい。

<長時間使用后>

- ①振動子の表面に汚れがたまっていないか調べて下さい。汚れている場合には、柔らかい布などで拭き取って下さい。
- ②振動子の表面を覆っているメッキがはがれていたり、傷ついている場合は振動子の寿命です。新しい振動子と交換して下さい。



10. 仕様

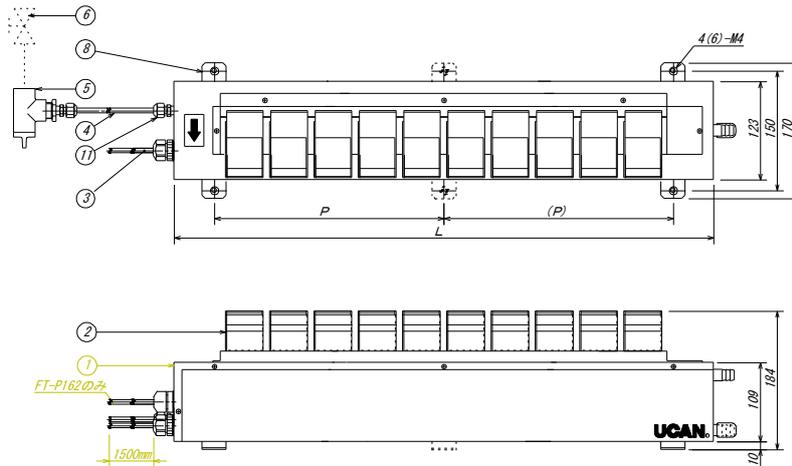
FT-P22/P42/P62/P82/P102/P122/P142/P162

本体外形仕様図

標準仕様

型式	加湿量 (L/H)	加湿ユニット数	UVランプ数	電源	消費電力 (VA)		重量 (kg)		寸法 (mm)	
					標準	UV仕様	加湿器	トランスボックス	L	P
FT-P22 (UV)	1.0	2	1	単相AC200V	77	83	2.8	2.8	230	130
FT-P42 (UV)	2.0	4	1	"	140	146	3.6	3.4	340	240
FT-P62 (UV)	3.0	6	2	"	202	208	4.4	7.5	450	350
FT-P82 (UV)	4.0	8	3	"	264	276	5.2	8.5	560	460
FT-P102 (UV)	5.0	10	3	"	327	339	5.9	8.8	670	285 (×2)
FT-P122 (UV)	6.0	12	4	"	389	401	6.8	9.9	780	340 (×2)
FT-P142 (UV)	7.0	14	5	"	452	470	7.7	10.0	890	395 (×2)
FT-P162 (UV)	8.0	16	5	"	514	532	8.6	13.6	1000	450 (×2)

※本製品は周囲条件により、加湿量が大幅に変動します。



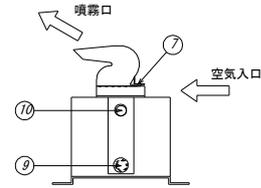
番号	品名	備考
①	加湿器本体	SUS-304
②	噴霧口	ABS樹脂
③	電源ケーブル	VCTF
④	給水鋼管(フレア付)	標準付属品
⑤	給水用ストレーナ	標準付属品
⑥	給水用バルブ (客先手配)	
⑦	噴霧口固定板	SUS-304
⑧	取付足	SUS-304
⑨	排水口 (キャップ付)	BS
⑩	オーバーフロー口	ABS樹脂
⑪	給水口	φ6.35L7

標準付属品

品名	規格
給水鋼管	φ6.35×0.7 L=600, Cu (BS)
オーバーフロー口	φ12×φ16 L=1000
給水ストレーナ	接続口径 Rc1/2, BC
本体取付足	吸着ゴム垫付×4 (P102以上は6個)

使用条件

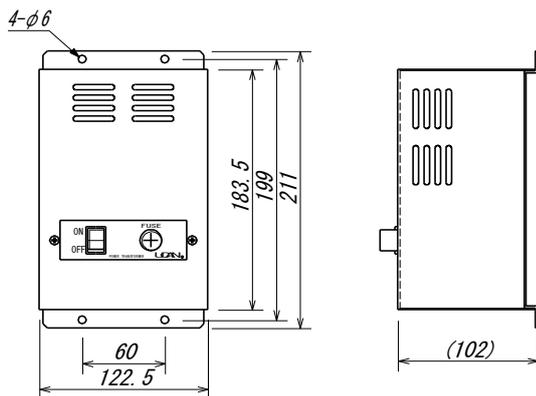
項目	内容
周囲条件	5℃~40℃, 90%RH以下(氷結しない)
給水方式	ポットスイッチ, 電磁弁による自動給水式
給水圧力	0.03~0.5MPa
安全装置	ポットスイッチによる空運転防止
	過電流防止用ヒューズ
	温度過昇防止用サーモスタット(55℃ OFF)
	サージフィルター



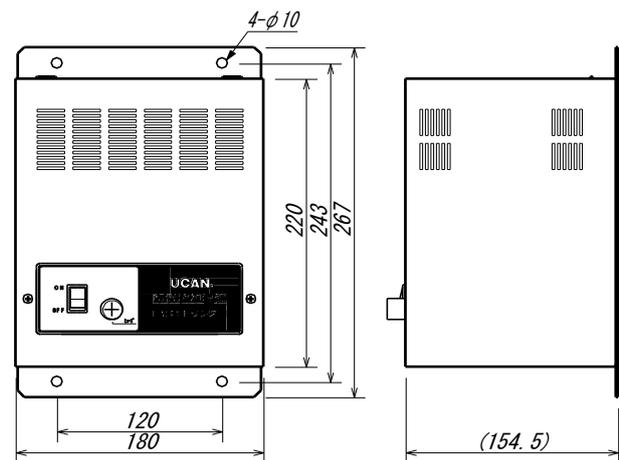
※P162のみ、電源ケーブルが2本になります。 ※ 破線部は客先施工

トランスボックス外形寸法図

FT-P22/P42



FT-P62/P82/P102/P122/P142/P162



FT-P242/P302 本体外形仕様図

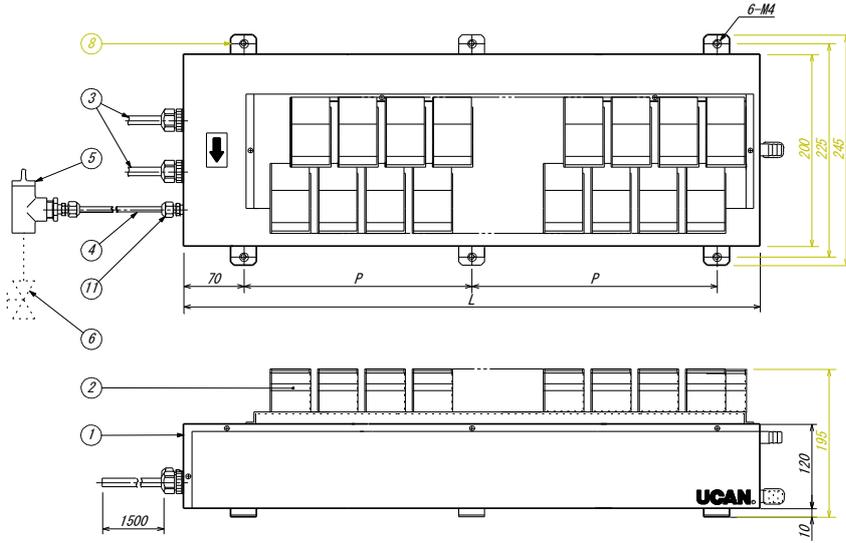
使用条件

項目	内容
周囲条件	5°C~40°C、90%RH以下(氷結しない)
給水方式	フロートバルブ、電磁弁による自動給水式
給水圧力	0.03~0.5MPa(0.3~5.0kg/cm ²)
安全装置	フロートバルブによる空運転防止
	過電流防止用ヒューズ
	温度過昇防止用サーモスタット(55°C OFF)
	サージフィルター

仕様

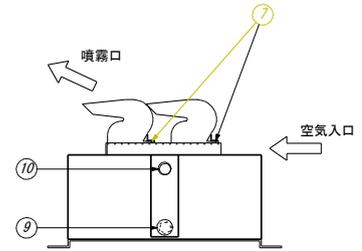
型式	FT-P242		FT-P302	
	標準	UV仕様	標準	UV仕様
電源	1φAC200V 50/60Hz			
加湿量(l/h)	12		15	
加湿ユニット数	24		30	
消費電力(VA)	881	896	1028	1046
重量 加湿器	11	12	13	14
(kg) トランスボックス	15	16	18	20
L寸法 (mm)	780		945	
P寸法 (mm)	340		423	

番号	品名	備考
①	加湿器本体	SUS-304
②	噴霧口	ABS樹脂
③	電源ケーブル	VCTF
④	給水銅管(フタ付)	標準付属品
⑤	給水用ストレーナ	標準付属品
⑥	給水用バルブ	(客先手配)
⑦	噴霧口固定板	SUS-304
⑧	取付足	SUS-304
⑨	排水口(キャップ付)	BS
⑩	オーバーフロー口	ABS樹脂
⑪	給水口	φ6.357L7



標準付属品

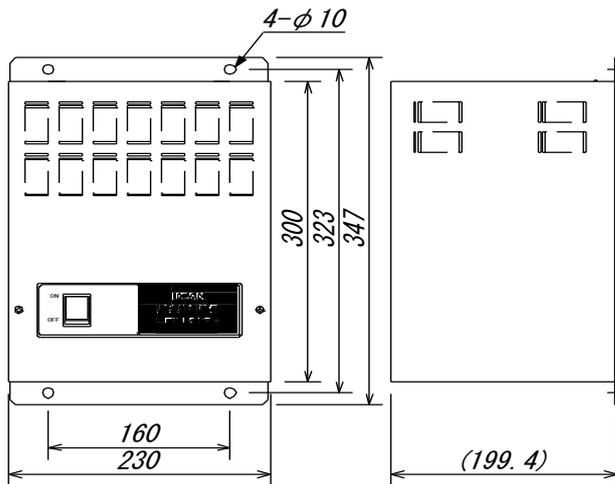
品名	規格
給水銅管	φ6.35×0.7 L=600, Cu(BS)
オーバーフロー口	φ12×φ16 L=1000
給水ストレーナ	接続口径 Rc1/2, BC
本体取付足	吸着ゴム盤付 ×6



※ 破線部は客先施工

トランスボックス外形寸法図

FT-P242/P302



FT-P482/P602 本体外形仕様図

使用条件

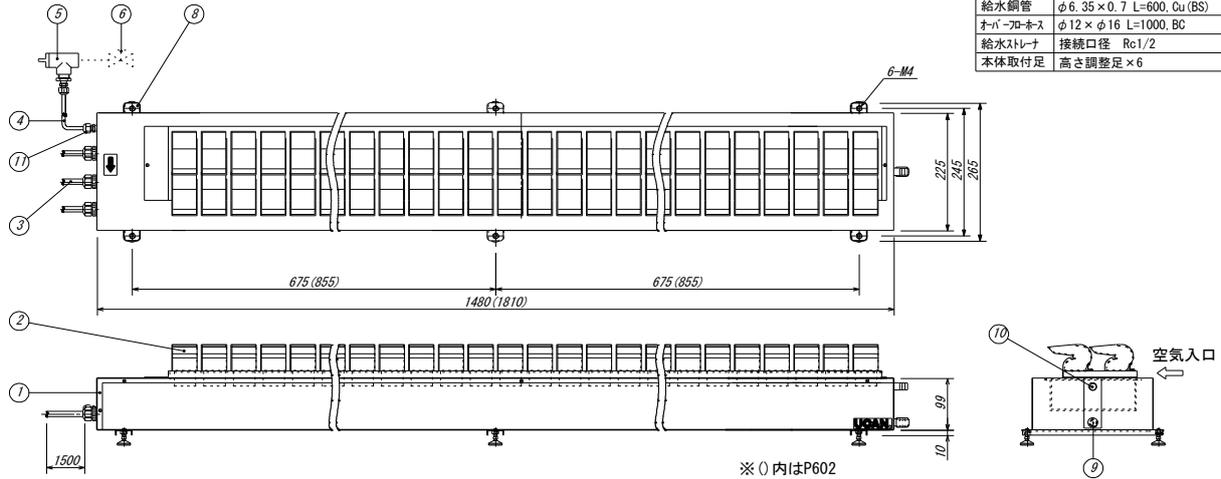
項目	内容
周囲条件	5°C~40°C、90%RH以下
給水方式	プロトタイプ、電磁弁による自動給水式
給水圧力	0.03~0.5MPa(0.3~5.0kg/cm ²)
安全装置	プロトタイプによる空運転防止
	過電流防止用ヒューズ
	温度過昇防止用サーモスタット(55°C OFF)
	サージフィルター

仕様

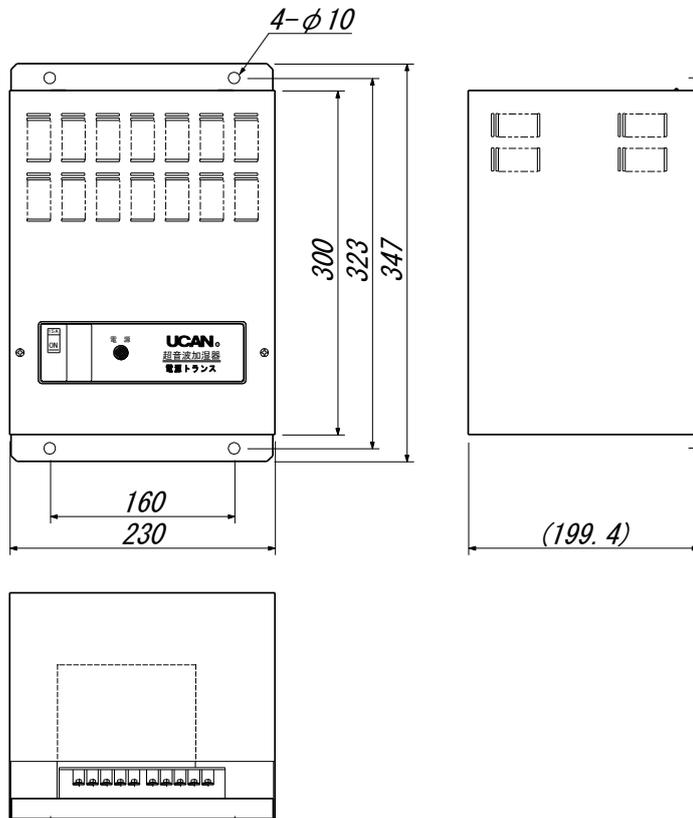
型式	FT-P482		FT-P602	
	標準	UV仕様	標準	UV仕様
加湿量 (l/h)	24		30	
加湿ユニット数	48		60	
電源	1φ AC200V 50/60Hz			
消費電力 (VA)	1512	1536	1887	1917
重量 加湿器	18.0	22.0	21.0	23.0
(kg) トランスボックス	21.0	22.0	22.0	23.0

番号	品名	備考
①	加湿器本体	SUS-304
②	噴霧口	ABS樹脂
③	二次側電源ケーブル	VCT/VCTF
④	給水銅管(フタ付)	標準付属品
⑤	給水用ストレーナ	標準付属品
⑥	給水用バルブ	(客先手配)
⑦	空気取入板	SUS-304
⑧	取付足	SUS-304
⑨	排水口 (キャップ付)	BS
⑩	オーバーフロー口	ABS樹脂
⑪	給水口	φ6.35x7

品名	規格
給水銅管	φ6.35×0.7 L=600, Cu (BS)
オーバーフロー	φ12×φ16 L=1000, BC
給水ストレーナ	接続口径 Rc1/2
本体取付足	高さ調整足×6

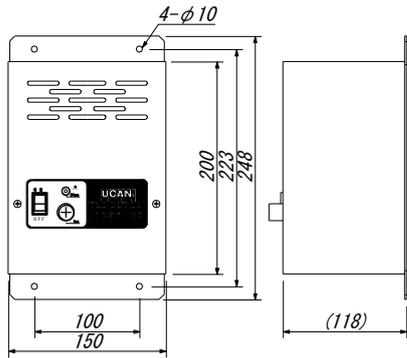


トランスボックス外形寸法図 FT-P482/602

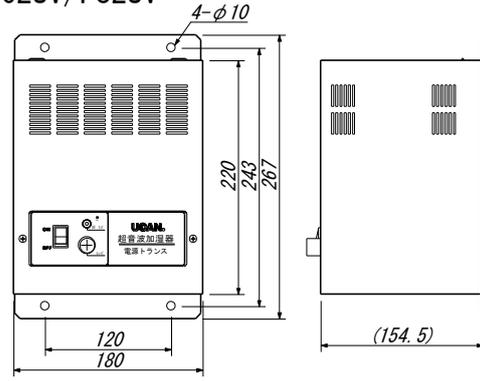


FT-PUV 用トランスボックス

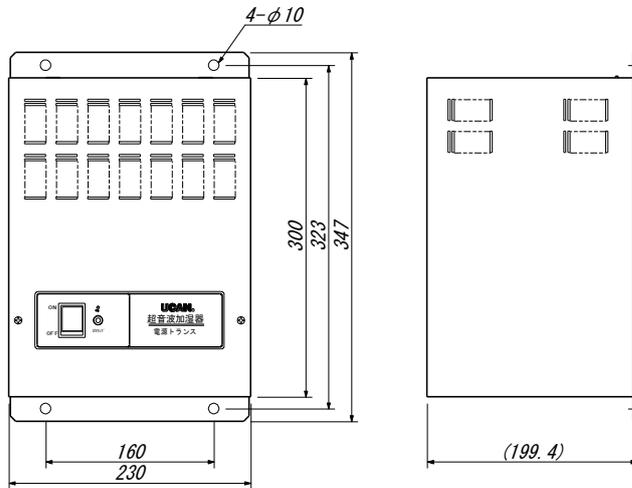
FT-P22UV/42UV



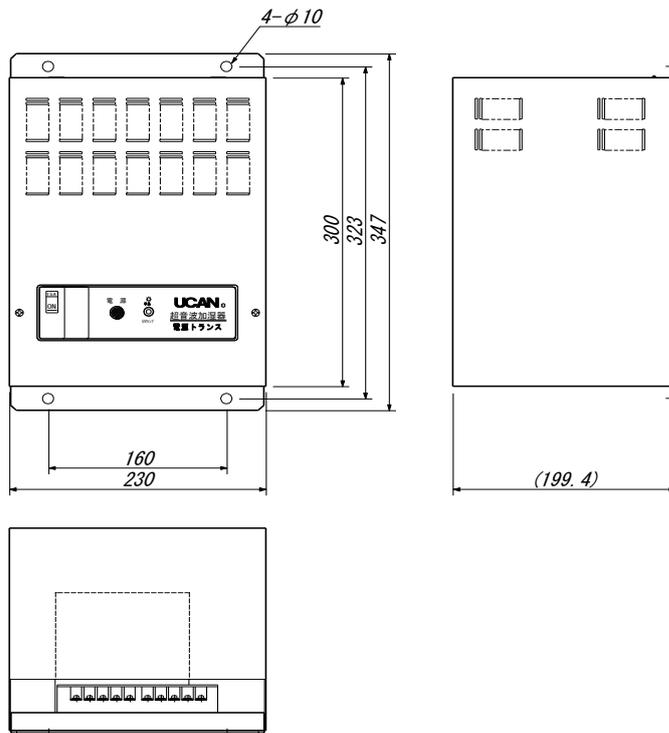
FT-P62UV/P82UV



FT-P102UV/P122UV/P142UV/P162UV/P242UV/P302UV



FT-P482/602UV

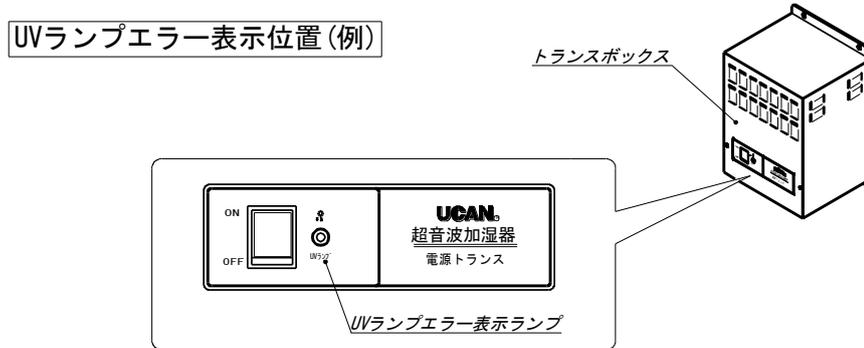


UV ランプ注意事項、および仕様

※UV ランプ搭載機種のみ

1) 注意事項

UV ランプが光量不足や消灯状態になると、電源スイッチパネルにある「UV ランプエラー表示ランプ」が点灯し、加湿器が停止します。すぐに UV ランプを交換してください。(UV ランプの寿命は約 10,000 時間です。)



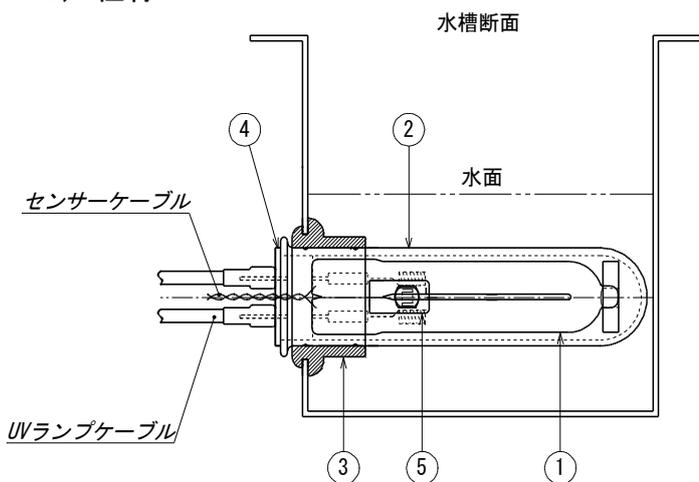
※機種により、スイッチ板のレイアウトは異なります。

- ※ UV ランプ外管(石英ジャケット)表面が汚れると殺菌能力が低下しますので、定期的にウエス等で汚れを拭きとって下さい。
- ※ UV ランプは水槽内を殺菌しますが、接続されているダクトホース内、噴霧ノズルには有効ではありません。それらを定期的に清掃して下さい。

⚠ 警告

- 裸眼でUVランプを見ないでください。
- 皮膚に長時間照射しないでください。

2) 仕様



No.	品名	型式
①	紫外線ランプ	GUL 1.2
②	石英外管	φ18, L=70mm
③	シールパッキン	UVP-001
④	保持栓	UVP-002
⑤	センサー	UVS-cds

保証規定

1. 本製品の保証期間は、工場出荷後一年間です。
2. 保証期間中の「正常な使用状態」において「製造上」の責任による故障が発生した場合は無償修理を行います。
3. 保証期間中でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 取扱説明書の説明をお守りにならなかったために発生した故障の場合。
 - (ロ) 故障原因が本器以外による故障の場合。
 - (ハ) お客様が商品に改造を加えたために発生した故障の場合。
 - (ニ) 火災、震災などの天災地変による故障および損害。
 - (ホ) お買い上げ後の輸送、移動などによる故障の場合。
 - (ヘ) 振動子交換
4. 遠隔地への出張サービスを行った場合の宿泊および交通の費用は、弊社旅費規程によりその費用を請求させていただきます。
5. 本商品の保証修理以外での補償は致しかねます。
6. 本保証は日本国内においてのみ有効です。

お問い合わせ、ご用命は

UCAN®

ユーキャン株式会社

本社 ●〒193-0832
東京営業所 ●〒160-0022
大阪営業所 ●〒541-0046
名古屋営業所 ●〒460-0002
福岡営業所 ●〒812-0027

東京都八王子市散田町5-6-19
TEL. 042-665-8846 FAX. 042-661-3887
東京都新宿区新宿1-1-7 コスモ新宿御苑ビル
TEL. 03-5379-1461 FAX. 03-5379-1460
大阪市中央区平野町1-7-14 平野町グランドビル
TEL. 06-6227-1317 FAX. 06-6227-1319
名古屋市中区丸の内3丁目2-1-23 宇佐美丸の内ビル
TEL. 052-385-3298 FAX. 052-385-3606
福岡市博多区下川端町1-3 明治通りビジネスセンター別館
TEL. 092-281-9241 FAX. 092-281-9244

なお、記載された商品の仕様・デザインなどは、改良のため予告なく変更することがございます。
ご了承ください。

<http://www.ucan.co.jp/>
info@ucan.co.jp
2190715